

第 1 回 アスパ高砂に関する調査検討委員会

議事要旨

開催日時	令和元年 8 月 9 日（金） 10：30～12：00
開催場所	高砂市役所南庁舎 2 階会議室 2
出席委員 (50 音順)	荒木委員、岸本委員、前田委員、山口委員、山本委員
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 市長あいさつ 3 委嘱状交付、各員自己紹介 4 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) アスパ高砂に関する調査検討委員会条例について (2) 委員長、副委員長の選任について (3) 委員会の運営について (4) 委員会の公開について (5) 諮問について (6) アスパ高砂の経緯経過について (7) その他 5 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後のスケジュールについて (2) 次回の委員会の日程について (3) その他 6 閉 会
資 料	<p><当日配付></p> <p>(次第書) 第 1 回アスパ高砂に関する調査検討委員会会議次第</p> <p>資料 1 アスパ高砂に関する調査検討委員会条例 アスパ高砂に関する調査検討委員会 委員名簿 アスパ高砂に関する調査検討委員会の運営について アスパ高砂に関する調査検討委員会の公開について 諮問書(写)</p> <p> アスパ高砂に関する調査検討委員会のスケジュール(案) 高砂商業振興(株)と高砂北部開発(株)の一本化に向けた スケジュール(案)</p> <p>資料 1－1 諮問の内容について</p> <p>資料 2 第 1 回アスパ高砂に関する調査検討委員会資料 <アスパ高砂について></p>
発言者・発言の要旨	
<p>1 開 会</p> <p><本日の資料の確認></p> <p><委嘱状について></p>	

<本日の進行について説明>

<出席者・事務局紹介>

2 市長あいさつ

(市長)

アスパ高砂は開店して20年以上経っている。元々は、市の商業活性化の核を創り、地元事業者の育成場所を提供する目的で市が共同で設置した。中小企業基盤整備機構から約1,240,000千円の高度化資金融資を受けるために条件であった第3セクターの設置のため、高砂商業振興㈱を設置した。市は当初10,000千円、のちに40,000千円、計50,000千円を出資し、現在4,200株のうち1,000株を保有している。

高砂北部開発㈱は神鋼不動産とイオン㈱の2社が設立。アスパ高砂は、高砂北部開発㈱と高砂商業振興㈱の2社で20年間運営してきた。商業施設は約10年で改修する。アスパ高砂は1度もリニューアルしていない。必要性が求められている。テナントからの地代で運営しているが、テナントの入れ替わり、減少により収入が減少している。

また、7000万返済して20年で完了するはずが、繰延返済のため今現在約4億800万円残高がある。31年度から1000万しか返済できない、決算上は黒字だが施設の改修の必要がある。施設を改修するにも高砂商業振興㈱には資金調達が厳しい状況である。トイレ等の設備改修資金として、3000万の捻出も厳しいものであった。

2、3年前から先行きについて2社で調整を行ってきた。そのような中でイオンリテール㈱からアスパ高砂を立て直すため、イオンが主体的に管理運営をしていきたい、1社体制にしてほしいと説明を受けた。高砂北部開発㈱に一本化することが条件である。市として、アスパは必要な施設であり、より発展をさせたい。発展させられるのであれば、高砂商業振興㈱の清算も一つの案ではないかと考えている。

高砂商業振興㈱から清算するには、3.4億不足している旨の申し出があった。金額はともかく市として支援できるのか、他にどのような方法があるのか、市は支援金、補助金として出せるか出せないか検討する必要がある、出資金、預かり金はどうするのか会社法上の問題が生じるなど。以上のことを踏まえ検討して頂きたい。

3回目くらいには当初の諮問について答えを頂きたい。新たな課題が出てきた場合は4.5回目で協議できればと考えている。よろしく願いしたい。

3 委嘱状交付、各員自己紹介

委員を代表して前田委員に市長から委嘱状を交付

各委員 自己紹介

4 協議事項

(1) アスパ高砂に関する調査検討委員会条例について

(事務局)

アスパ高砂に関する調査検討委員会条例について説明

(2) 委員長、副委員長の選任について

(事務局)

条例第5条「委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。」と規定している。委員長、副委員長を定めることについて、特に意見等がないようであれば、事務局案として、兵庫県立大学の山口委員を委員長に、藤田・川崎法律事務所の岸本委員を副委員長に、提案したい。

承認いただけるのであれば、拍手で承認をお願いします。

<拍手>

委員長に山口委員、副委員長に岸本委員を選任する。

(3) 委員会の運営について

(事務局)

委員会の運営について説明

(委員長)

何かご質問はあるか。

<なし>

委員会の運営についてを定めることに、異議はないか。

<異議なし>

それでは、委員会の運営について、案のとおり定めることとする。

(4) 委員会の公開について

(事務局)

委員会の公開について説明

(委員長)

何かご質問はあるか。

<なし>

委員会の運営についてを定めることに、異議はないか。

<異議なし>

それでは、委員会の公開について、案のとおり定めることとする。

(5) 諮問について

<副市長より諮問書の交付>

諮問内容

- 1 アスパ高砂の今後の継続運営に対する市の施策に関すること。
- 2 高砂商業振興株式会社の諸課題に対する市の施策に関すること。
- 3 その他市長が必要と認める事項

(6) アスパ高砂の経緯経過について

(事務局)

アスパ高砂の経緯経過について以下の内容を説明

- ・アスパ高砂について（概要）

- ・開発会社(デベロッパー)設立時の概要
- ・株式の状況について
- ・アスパ専門店市内・市外の状況(店舗数・床面積・株数)について
- ・アスパ高砂の土地所有者について
- ・高砂北部開発事業の沿革
- ・高度化事業について
- ・独立行政法人 中小企業基盤整備機構について
- ・アスパ高砂の運営に関するイオンリテール(株)からの説明内容(6月27日)について
- ・事業報告書(第25期)高砂商業振興(株)
- ・事業報告書(第26期)高砂北部開発(株)
- ・高砂商業振興(株)定款
- ・高砂北部開発(株)定款

(委員)

1 ページ、2 (3) 株式額面割れの表現について、どのような意味なのか。

(副委員長)

出資額に満たないことを意味している。

(事務局)

この表現については、イオンが説明した内容を記載している。内容については、副委員長が言われた内容であると理解している。

(委員)

公表するのであれば、わかっていないのではないかと捉えられるので変えたほうがよいのではないか。

実質的には債務超過になる可能性があるということになる。

(事務局)

意見を伺う過程に於いては正式な表現も教えていただき対応していきたい。

(委員)

資料の1 ページ、4 (5) 商工会議所が試算しているが、これの根拠はあるのか。

(事務局)

根拠となる資料を次回に提出したい。

(委員)

23 ページ、商業振興(株)の固定資産、期末帳簿価格が6.8 億円、大体7 億くらいある。清算のために7.1 億円いるのか。

(事務局)

イオンの評価はその額である。

(副委員長)

妥当かどうかわからないが、イオンの提示は3.7 億円で、それにしてしまうと足りなくなる。

(委員)

帳簿上の価値と時価に乖離があるという認識でよいのか。

(事務局)

7. 1億円の明細について、貸借対照表で落とし込んだ資料があるので、提示する。

(委員長)

その他、必要な書類があれば言っていただきたい。

(委員)

営業を開始してからの売上げや利益がどれくらいあったのかを時系列で見たい。借入金について、融資年と借入額と30年度時点の残高しかない。借入金がどのように減ったり、増えたりしているのか。

本来であったら、2016年、2019年で返還してしまう予定であったが、返し切れていないことが資料に記載されている。条件変更をしていると思うが、この変更は今回初めてしたのか。

(事務局)

5回している。

(委員)

本来の条件と変更後の条件について、調べたらどうか。

(事務局)

市長があいさつで申し上げたとおり、7千万ずつ返済する計画であったが、4千万円になり、昨年から1千万を3年間に変更している。

(委員長)

現状では利益が500万円ぐらいしか出ていない。

(委員)

いつ、どのような状況で、条件を変更をしたのかをまとめられるのか。

(事務局)

どのような形で資料を出せるのか検討させていただき、借入金の変動について資料提出したい。

(委員)

資料13ページ、高度化融資返済について、9月21日、10月19日の2回事前診断を経て、3か年の減額猶予を受けている。これ以外もあり、全体で5回繰り延べをしている。この9月と10月は去年か。

(事務局)

30年である。

(委員長)

必要な書類はあるか。時間がないので出来るだけ気づいたものを言っていただきたい。

(事務局)

この会議終了後に電話やFAXで資料要求をしていただいてもよい。

(委員長)

5ページの不動産のところで、これの対応関係について、売却にあたって、高砂市が所有しているところもある。どのような関係になっているのか。わかったら調べてもらいたい。

高砂市の持分が入っているのか、入っていないのか。

(事務局)

高砂市と記載されている部分は、道路の部分で現在も道路として使っている。

今後も道路になると思われる。その上の部分が施設や駐車場になっている。

(委員長)

個人所有のところもあるのか。

(事務局)

ある。

(委員)

先ほど、自己紹介の時に委員が言われていたが、子どもさんが遊んでいたと。元は何があったのか。昔、ジャスコは新幹線の南側にあった。

(事務局)

神戸製鋼所のグラウンドと市の公園があった。

(委員長)

市の公園もあったのか。

(事務局)

三角地が市の所有であった。公園問題が解決して、商業振興と北部開発の2社が今、所有している。

(委員)

ずれるかもしれないが、梅井にもイオンがある。あれが来たのがいつかわかるのか。梅井のマックスバリューはいつ来たのか。

(事務局)

いつ来たのかはわからない。

(委員長)

もう少し詳しく資料を見ていただき、必要な書類等があると思うので、次回までに準備をいただき、事前に配布できるように、私の方で市役所の方と協議したいと思う。気づかれた資料等必要があれば知らせていただきたい。

(委員)

商業振興の借入について、実際にお金を出しているのは中小機構で、名義上の借入先が県という形なのか。

(事務局)

貸付事業自体は中小機構の事業である。貸付資金については、商業振興(株)の場合は、3分の2が中小機構、3分の1を県が負担している。窓口として県が担当している。

(委員)

商業振興(株)が返済しているのは、県なのか。

(事務局)

償還金について、県が受けて中小機構に返還する形であると思うが確認していない。県に確認する。

(委員)

付属明細で借入先が兵庫県となっている。

(委員)

そもそも1億8千万しか売上げがないのに、12億も借りて、スタートしている。返済の見

込みがなかった。公共的な事業と言われれば、それまでであるが、普通の民間企業ではそんな借入れは絶対しない。これは、感想である。

(委員長)

いろいろとあると思うが、とりあえず、資料と説明を欲しいというものについて、見ただけでわかるものと分からないものがあるので、その点について、一回持ち帰っていただき、必要な資料があれば、市の方へ問合せしていただきたい。私の方で整理し、事前にお配りできるものと、次の会議の際に準備するものとを調整する。次回、詳しい議論が出来ればと思う。

(7) その他

(事務局)

諮問内容について、事務局でもう少し絞り込む。

5 その他

(1) 今後のスケジュールについて

(事務局)

アスパ高砂に関する調査検討委員会のスケジュール(案)について、高砂商業振興(株)と高砂北部開発(株)の一本化に向けたスケジュール(案)について説明

清算の手続きについて、具体的な日時は示していないが、次回の委員会では、商業振興と調整を行い、詳細なスケジュールをお示ししたいと考えている。

(委員長)

清算の手続きのスケジュールについて、詳しいものを洗い出していきたいと会議の前にお願している。出来るだけ詳細のスケジュールがほしいと。予定のスケジュールよりもタイトではないかと印象として持っている。少し詰めてやっていかなければいけないと思っている。

(2) 次回の委員会の日程について

(事務局)

次回の委員会は8月22日午後2時からを予定している。山本委員は都合が悪いと伺っている。

他の委員の方でご都合の悪い方はいらっしゃるか。

10月検討委員会の日程調整について、10月15日の週で1日、28日の週で1日、開催したいと考えている。都合の悪い日を知らせていただきたい。

6 閉会

(委員長)

全体を通じて、最後に副委員長から願います。

(副委員長)

本日の委員会はアスパ高砂について、どのようなことが問題になっているのかという概略的な説明になった。次回以降は、どういう問題点を抱えているのか。特に、第3セクターを清算する手続きがどうかではなく、第3セクターを清算するかどうかは問題ではなく、第3セクターである高砂商業振興を清算するにあたって、試算では**3億4千万円の資金不足となっている**。すでに**高砂市**は出資金で5千万円を入れているため、5億円近い資金援助をするこ

とになることが妥当かどうかということが一番のポイントになると考えている。いろいろな皆さんの立場で意見があると思うので、慎重に審議いただきたいと思う。

(委員長)

副委員長が言われたように、あくまでも市が求められている3億なにかしらのお金について、市が出すことが妥当かどうかというところが我々の審議のポイントであると思うのでその点について、筋が通るように議論をしていきたいと思うので、今後も協力をよろしく願います。

本日の検討委員会は終了する。